



# お宮の堀岸を花菖蒲の名所に（福岡県三潴郡大木町）



## 【いい川情報(私のまちのいい川自慢、見どころ 等)】

堀(クレーク)の面積が町域の約14%を占める大木町では、古代より農業用水や生活用水を確保するために堀を掘り、活用してきました。また集落ごとに存在する鎮守の社は水の恵みへの感謝する場であるとともに、水争いを協議する場としても機能していました。堀に映る夕日も格別ですが、こうして水面に周りの景色が映り込むのも流れの静かな堀ならではのこと。このような景色は、町の随所で見ることができます。自然景観というよりは人と自然が作り出した文化的景観といえるでしょう。

【応募理由】 堀は古代より住民の暮らしと一体のものでした。農法や生活様式の変化にともなって、現在ではその役割は変化していますが、人々の堀に対する愛着は変わることなく、それが堀の維持管理を地域主体でおこなっていくという自治の精神の根幹になっています。堀岸を花菖蒲の名所にしようと、冗談を言い合いながら楽しく作業をするなかで、また地域の親交を深めていく。そんな仲の良い光景こそが地域の誇りだということを、多くの人に訴求していきたいためです。

## 【撮影者、撮影場所、時期、時間 等】

大木町企画課撮影  
福岡県三潴郡大木町大字横溝  
平成25年9月28日

## 【問い合わせ先】

大木町役場 企画課 まちづくり係  
電話:0944-32-1036